

一般社団法人 巨樹の会  
新武雄病院

# おおくす

2015.04

# Vol.13



職員投稿 作品名：「久住山頂より」 作：総合診療科部長：堺 正仁

## Contents

「ミッドナイト ガーグル」・・・・・・・・ 1～2  
湿布薬の効果的な貼り方・・・・・・・・ 3  
医療機器の専門家“臨床工学技士”・・・・ 3  
MRI の検査を受けられる方へ・・・・・・・・ 4  
海外研修報告 in ドイツ・・・・・・・・ 4

健康講座・・・・・・・・ 5  
人事異動のお知らせ・・・・・・・・ 5  
人間ドックのご案内・・・・・・・・ 6  
ちょこっとリハ  
理念・基本方針

# 「ミッドナイト ガーグル」

職員投稿：ペンネーム 村上 仁



幻の名著「私を山に連れて行って」の、あの村上による職員投稿も今季号で第3話！

今回はジョーク無しの壮絶救出劇。

「ファッション登山」に警鐘を鳴らすノンフィクションストーリー。

今、村上ワールドから目が離せない！今すぐ登山道具をそろえて山に行こう！

夢かと思い、シュラフから顔を出した。凍えた指でヘデンのスイッチを押した。テントの入り口を開くとつばらな瞳がまっすぐに僕を見ていた。

「彼が…。助けてあげてください。お願いします。お願いします」泣き崩れテントに倒れこんできた。

即座に状況を把握できた。

「君の彼氏はどこに今いるの？」

「そこの坂をおりた岩のそばで…」声が震えてよく聞き取れない。

彼女の軽装なスタイルから、雪山ハイキングのつもりで山に来た若い恋人たちが突然の吹雪で道迷いをしたことがわかった。

ガスバーナーに火をつけ、びしょ濡れになって震えている彼女に「外にいるからとにかく着替えて」ザックからあわてて、使っていないヒートテックの下着上下とモンベルのダウン、モンチュラ製のパーカー、タオルを渡した。

久住別れの避難小屋から外に出てみた。風はトタン板を激しく叩き、闇は深い。目の前の久住山の形も見ることができないほど吹雪いている。

雪が頬を強く叩く。

「はたして、今いる久住別れから北千里に一人で降りれるか」考えてみた。「彼を助け、この避難小屋まで担いで戻ってこれるだろうか」風はトタン板を激しく叩き、いよいよ闇は深い。ヘデンの明かりが、闇の深さをきわだたせる。携帯電話の電池はすでに切れており、H温泉や警察にも連絡できない。牧ノ戸峠で携帯を充電しなかったことが悔いられる。

テントに入る前に「着替えた？」とたずねたが返事がない。すすり泣き声と嗚咽がテントの中を支配する。

震えている彼女の後ろ姿。雪を溶かして作っておいた水をすぐに沸かした。粉末のコーンスープを渡した。泣きじゃくるだけで話をしてくれない。

「彼を助けに行くから、じっとしていなさいよ」自分でも驚くほどに冷たく言い放った。

登攀道具は最低限持参していた。スリング、カラビナ、エイト環、ザイルとツェルト、バーナーをザックにおしこみ、マムートの目出し帽をつけ外に出た。ゴーグルなしでは雪が目を襲い歩けない。バーナーをいつも2個用意してい



てよかった。新雪にアイゼンが沈んで歩きにくい。やっとのこと北千里浜への下降地にたどり着いたときは、風がやんでいた。しばらく立ったまま今の状況を考えていた。しかし、考えても今の状況が改善するとは思われなかった。

すぐに風がまた吹き出してきた。久住別れは地形上風が吹きだまり、雪を舞い上げる。いよいよさらに強く、風が舞う。ゴーグルに雪がついて視界をさえぎる。一般登山道は新雪でトレースがわからない。長スリングを胸に巻き、簡易ハーネスを作り、環付カラビナを付けた。下懸垂下降できる雪が風で飛ば

された岩場を探した。ほど良いピクナルを見つけ、長スリングを巻き、カラビナをつけ支点にした。ダブルロープにエイト環をつけ、凍える指先でマッシャーを作り環付きカラビナを装着した。懸垂下降していく。風が雪を吹き飛ばし、岩はアイスバーンになっておりアイゼンがよく効いた。ヘデンの一条の光が闇夜に線を描く。北千里浜に降りたことすらわからないほど、緊張で疲労していた。指先の感覚は完全に麻痺していた。吹雪いていて自分の現在位置が確認できない。闇とホワイトアウト。ガーミンのGPSで現在位置を確認したかったが感覚の無くなった指先でスイッチが押せない。とにかく北千里浜で道は失いたくない。「二重遭難」という言葉が脳裏によぎる。「こんな他人事のために死ぬのか」雪に沈んで歩けないのでアイゼンを外した。外すのに途方もなく時間を要した。こんなに積雪のある九重は初めてだ。30年ぶりの大雪だそうだが九州の山でこんな目に遭うとは…

すがもり分岐までは行ってみよう。自分を納得させる。

昭和の遭難碑のケルンの傍らから、かすかに光が揺れている気がした。

その男は震えながらケルンの傍らにいた。顔は青ざめ唇は小刻みに震えている。

「大丈夫か？ 助けに来た」

「足を捻挫したみたいで…あいつは大丈夫ですか」この場に及んで女の心配してやがる。

「大丈夫」

ザックからツエルトをだし、男を中に押し込み空間をなん



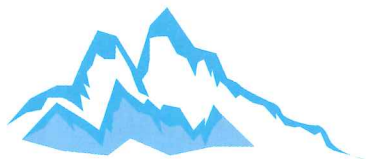
とか作り、ガスバーナーに火をつけた。生気のない男の顔に血の気もどってきた。テルモスから紅茶を渡し、「ここを動くな。朝まで頑張れ」チョコレート、粉末スープ、水、スコッチの小瓶を渡し、ツエルトからはい出した。吹雪は一向に止む気配はなくザイルの固定地にたどり着くまで、何時間もかかった気がした。肺が呼吸するたび痛い。全身が小刻みに震える。彼女のために残しておいたガスバーナーボンベの残量が気になった。アイゼンを時間をかけ正確に付けようとするが指先がいうことをきかない。ピッケルで足場を作りながら一歩ずつ登る。一歩踏み出すごとに休憩を入れなければ突風で体もっていかれそうだ。ザイルにしがみつきじっと風が止むのを待つ。風が弱くなるとまた踏み出す。一歩進めるごとに休む。

久住別れに出たとき、久住山の穂先が一瞬見えた気がした。ザイルを回収しその場に置いた。走って小屋に向かった。アイゼンに雪がからみ途中アイゼンを外した。心臓が破裂しそうに拍動し、肺が痛い。トタン板を蹴り小屋の中に飛び込んだ。真っ暗な小屋の中。恐れたようにボンベがなくなったのだ。テントを開けた時、僕のヘデンの光が彼女の顔を映しだした。突然何か自分の体に重力がかかり倒された。いい匂いがした。

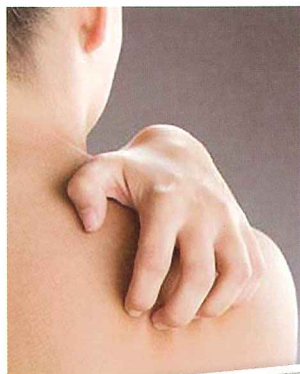
「彼は…大丈夫だから…」

闇の中、僕のヘデンの光がダンロップテントのオレンジ色の天井で揺れていた。蹴り倒したトタン板に風が叩きつける音が、強くなっていくように感じた。

次回へ



## 湿布薬の効果的な貼り方



湿布薬は冷やすタイプのもものと温めるタイプのもがあります。冷やすタイプの冷湿布は打ち身、捻挫、打撲など、熱をもったり痛いなど患部に急激な炎症が起きている時に使います。

温めるタイプの温湿布は肩こり、腰痛など局所が冷たい時や筋肉のこわばりがあるなどの慢性的な症状に使います。

湿布薬は、主薬がおよそ 12 時間で均一に放出されるように作られています。従って、1 日に 1 ~ 2 回患部に貼りかえるだけで十分な効果を発揮します。

湿布薬の中には貼った所に日光（紫外線）が当たると、かぶれるものもあります。

屋外で活動する時は、濃い色の服やサポーター等で、貼った所を紫外線から遮って下さい。また、はがした後も薬は皮膚に残っています。少なくとも 4 週間同じように注意して下さい。

貼った所にかぶれが起こったら、すぐに使用を中止し、医師または薬剤師に相談して下さい。

（薬局：黒木）

## 医療機器の専門家

## 臨床工学技士

臨床工学技士とは医療に関する国家資格です。病院内では CE (Clinical Engineer) や ME (Medical Engineer) と呼ばれることが多いです。正式には「医師の指示のもと、生命維持管理装置の操作及び保守点検を行うことを業とするもの」と法律で定められています。生命維持管理装置とは生きる為に不可欠な「呼吸」・「循環」・「代謝」を臓器に代わって行う機械で、人工呼吸器や人工心肺、ペースメーカ、人工透析装置などが有名です。

当院の臨床工学科では人工呼吸器管理や人工透析、心臓カテーテル検査、内視鏡検査、手術室業務などに携わっています。生命維持管理装置が必要な患者様は極めて重篤な場合も多く、24 時間 365 日オンコール体制をとり緊急時に備えています。また保守点検・管理を徹底し院内の医療機器全てが安全かつ円滑に使用できるよう努めています。

普段は手術室や集中治療室、心臓カテーテル室、内視鏡室にいたることが多く皆様には馴染みが少ないかもしれませんが、院内における医療機器の専門家としてチーム医療の一端を担っています。

（臨床工学科：吉住）





## MRI の検査を受けられる方へ。

MRI は、放射線を使用せずに、磁力の力によって体の中を検査する機械です。非常に大きな磁力を使用するので検査室内に金属を持ち込むと、機械に向かって飛んでいき吸着してしまい怪我や事故の原因となるので持ち込み厳禁です。

主な金属類として以下のようなものがあります。

- |              |             |           |        |        |
|--------------|-------------|-----------|--------|--------|
| ・ネックレス       | ・メガネ        | ・カード（銀行等） | ・時計    | ・カツラ   |
| ・ピアス         | ・入れ歯（差し歯は可） | ・補聴器      | ・コルセット | ・ブラジャー |
| ・ヘアピン        | ・鍵          | ・ペースメーカー  | ・入れ墨   | ・点滴台   |
| ・カラーコンタクトレンズ | ・硬貨         | ・携帯電話     | ・酸素ボンベ | ・杖     |
|              |             |           |        | ・カイロ   |

また、湿布やヒートテックも素材によっては持ち込みができないものもあります。

MRI 検査では、靴等についた砂（砂鉄）が機械にくっついて検査に支障が出たり故障の原因となったりするため、検査室に入る前に検査用スリッパに履きかえていただきます。

検査に関するご質問やご不明な点がございましたら、いつでも放射線科スタッフに気軽にお尋ねください。

検査を受けられる方にとって安全により良い検査が出来ますようスタッフ一同努めてまいりますので、ご協力の程よろしくお願いいたします。（放射線科：長岡）

## 海外研修報告 in ドイツ

5月15日から11日間でドイツへ研修に行かせて頂きました。この研修では日本とドイツのリハビリ医療（以下、リハ）の制度や取り組みの相違点を探り、当法人における10年後のリハ医療の在り方を探る事が目的でした。ドイツでは温泉治療も盛んで郊外の水源付近にリハ施設があり、患者様は長閑な環境の中で最低21日間の滞在型リハ医療を受けていました。滞在中はトレーニングの実施だけでなく障害予防や家族教育の内容も盛り込まれ、患者自身が率先して参加しなければ保健適応にならないとの事でした。この研修を通じ、短期間に社会復帰可能な状態にする為には、より化学的根拠に基づいた機器の整備や再発予防を踏まえた活動、早期に可能な範囲で活動するため



の援助や環境設定の必要性を再認識させられた旅になりました。今後も当院が地域の皆様に対し、より良いリハ医療が提供できるよう私も微力ながら貢献して参りたいと思います。

（リハビリテーション科：課長 野村晋広）



# 健康講座

地域医療連携室では各市町村の団体及び老人会等を対象に、健康予防を目的として各科の医師をはじめとするスタッフを講師として地域の公民館等へ派遣し健康講座を開催しています。会場では画像やスライドを使い、より多くの地域の皆様に病気の予防等についてわかりやすく説明しています。また、参加者のご質問にもお答えする事にしています。

是非とも、この機会に健康講座を活用し、皆様の健康維持・健康増進に取り組んで頂ければ幸いです。

昨年度は38の老人会より1,363人の参加を頂き、本年度は13の老人会より579人の参加を頂いております。参加者の皆様にご協力頂いているアンケートには、「丁寧に話してもらい、大変わかりやすかった。」「老人に適した運動で良かった。」といった意見を頂きました。また、当院についての意見やご要望をアンケートに書いてもらう事によって、地域に根ざした病院作りの為の貴重なご意見として、今後の課題やご参考にさせて頂いています。

下の写真は、これまでに開催された様子を撮影したものです。写真でもわかるように参加者の皆様は元気良く体操をされ、講師の先生も真剣に話されています。皆様のご期待に応えられるようなテーマを用意してお待ちしております。興味のある方は地域医療連携室までお気軽にお問合せ下さい。

(地域医療連携室：森 孝史)



武雄 → 原宿

## 人事異動のお知らせ

インタビュー

1月より原宿リハビリテーション病院開設準備で異動する  
リハビリテーション科 主任 作業療法士 川野 将広さん



Q 武雄の第一印象は？

A 田舎だけどとても食べ物が美味しい。

武雄市民病院の時は裏山で猪や野うさぎを見た時は衝撃的でした。

だが、今ではとても住みやすい環境だと感じています。

Q 武雄での、一番の思い出は？

A 病院の立ち上げ

リハスタッフの人数が少ない中で団結し、遅くまで仕事してからの飲み会。

大変な事も沢山ありましたが、新しい出会いや環境が自分を大きく成長させていただきました。

Q 武雄で一番苦労したことは？

A 美味しい物を食べて、美味しいお酒を飲んで、

体重が増えたことにより、  
脊椎の椎間板が出ちゃったこと。

Q プライベートではどんな事に興味がありますか？

A 作業療法

あまり作業療法以外考えたことがありません。

Q 最後に関東での意気込みをどうぞ。

A がばいよか回復期リハビリテーション病院を作るぞ！



# 人間ドックのご案内

年に1回は自分の身体の事を知り、健康管理に努めましょう!!

みなさんは、自分の身体の事をどのくらい御存じですか。  
自分は大丈夫。その油断が危険信号です。「がん」「心臓病」「脳卒中」といった生活習慣病は、長い年月をかけ進行するものがほとんどです。  
自覚症状が現れてからでは手遅れになる事もあります。まずは、健康診断を受け自分の身体を見つめなおしましょう。

※健康保険を利用した受診は出来ません。



## 予約から健診までの流れ(当院は**完全予約制**です)

### お申し込み

受診希望日の2~3週間前までに  
お申し込み下さい。

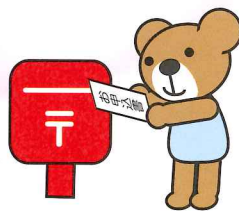
胃の検査をご希望の方は、胃カメラか  
胃透視(バリウム)を選択して下さい。



### 書類送付

ご予約後、コースに合わせた  
問診票などの関係書類を  
お送りします。

〔中身をしっかりご確認ください。〕



### 健診当日

事前に送付した書類に記入し、  
検体・保険証をご持参の上、  
当院健診室までお越し下さい。  
受付後、検査へご案内致します。



### 主な健診コース ※健康保険証はご利用できません。

- 人間ドック(日帰り・宿泊)
- 脳ドックコース
- 消化器コース
- 肺検査コース
- 生活習慣病予防健診
- 健康診断

詳しくは健診室までお問い合わせ下さい。

### 追加オプション検査

- 脳検査
- 腹部超音波
- 大腸内視鏡
- 胸部CT検査、喀痰検査
- 胃内視鏡(カメラ)
- 子宮頸がん検査
- 胃透視(バリウム)
- 腫瘍マーカー(前立腺)
- 骨塩定量検査
- 乳房超音波
- 乳房マンモグラフィー
- PET・CT検査(福岡和白画像診断クリニックで行います)

ご予約・お問い合わせ

なっとく ドックに



0120-791092

受診日/月曜日~土曜日(日・祝日は休診)  
お気軽にお問い合わせください

〒843-0024 佐賀県武雄市武雄町大字富岡12628番地 ・TEL/0954-23-6444(直通) ・FAX/0954-26-8193(直通)  
・E-mail/kenshin@shintakeo-hp.or.jp



# ちょこっとリハ



こんにちは。今回は、夜間時のポジショニングについてです。

皆さま、夜寝ている時に肩が痛くなったり、それが原因で目が覚め寝付けなかったりはありませんか？肩周囲の筋肉の損傷によって起こるもの（腱板損傷）や五十肩（肩関節周囲炎）などによって夜間時痛が引き起こされます。そこで、少しでも痛みが出ず、快適な眠りになるよう、夜間時のポジショニングをしっかりと行うことが大切です。

まず、肩が前へ（円背により）出てしまい、それが原因で夜間時に痛みが出ることがあります。仰向けで寝る際は、写真のように肩の下にタオルケットなどを敷き、肩が落ち込まないように気をつけます。続いて、横向きで寝る際は、タオルケットや抱き枕など軽く抱きかかえる様にしてもらえると、肩が前へ出ず、痛みも出現しにくくなります。

保温とポジショニングにて、夜間時の痛み軽減につながればと思います。しかし、対処療法となるため、痛みの原因を取り除くわけではないので、病院への受診も行ってください。



## ● 理念・基本方針

PHILOSOPHY AND BASIC POLICY

● 理念 「手には技術、頭には知識、患者様には愛を」

### ● 基本方針

- 高度医療** | 学問的に、技術的に高い水準の医療を提供します。そのために必要な施設・設備の整備拡充に努めます。
- チーム医療** | 患者様の目線に立った安全で安心できるチーム医療を提供すべく、急性期医療から、早期リハビリ、退院支援まで、ニーズに沿った医療を提供します。
- 地域医療** | いつでも誰でも安心して利用できる、救急医療に重点を置いた地域の中核病院を目指し、地域の医療施設・福祉施設と密接な連帯を推進します。



### ■ 診療科目

内科・呼吸器内科・循環器内科・消化器内科  
外科・整形外科・リウマチ科・脳神経外科  
呼吸器外科・泌尿器科・放射線科  
リハビリテーション科・救急科・肛門外科

### ■ 診療時間

午前 9:00 ~ 12:00 (専門外来)  
午後 2:00 ~ 5:00  
※但し、急患の場合はいつでもただちに診察致します。

● 〒843-0024 佐賀県武雄市武雄町大字富岡12628番地 ● E-mail info@shintakeo-hp.or.jp  
● TEL 0954-23-3111 ● FAX 0954-23-0208 ● ホームページ <http://www.shintakeo-hp.or.jp>